

たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～



冬の寒さを感じる日も増えてきました。子どもたちは、お家の人と会話をしながら元気に登園しています。インフルエンザにかかっていた時期もありましたが、お家の方がしっかりと健康管理をしてくださり、現在は風邪をひかずに元気に生活を送っています。

2学期の終盤ともなると気のあう友だちも増え、学級の団結力も高まってきました。また、異年齢での活動を重ね、相手の気持ちや状況をとらえられるようになりつつあります。このような時期だからこそ多様な経験をするのが大事だと思います。

♡幼稚園にお馬さんがやってきた♡

～動植物とのふれあいから命を大切にすることを育成する～



湖南馬事センターの皆さんがポニーを連れてきてくださいました。お出会いするきっかけがあり、何度も話を重ねて実現した取り組みです。園のめざす子ども像として「命のあるもの、生命を大切にしようとする子ども」を育成するという目標があり、動物とのふれあい体験を計画して実施しました。私からは、視覚教材を使いながらお馬さんと仲良くなれる術を伝えてふれあいタイムをスタートしました。子どもたちは、約束を守りながら、お馬さんとのふれあいを楽しみました。



乗馬体験（4・5歳児）



ふれあいタイム（全園児）



もぐもぐタイム（全園児）

馬事センターの方は、事前の打ち合わせの中で、小さな子どもさんは大きな馬を怖がることも多いですよと話されていました。私もその話を伺ってきくと子どもたちは怖がるかもしれないと思い込んでいました。しかし、当日は、全ての学年の子どもたちが怖がることなく、馬とのふれあいを楽しみ目の前の命のあたたかさを感じていました。「くりちゃん、あたたかいね!」「ごろうちゃんフワフワしてる!」と、自分の気持ちを言葉で伝え合いました。

これまでの園・家庭での生活経験がとても生きていました。子どもの力は無限にあると感じたのと同時に、経験の積み重ねの重要性を痛感しました。

～子どもたちが自主的に質問をして馬の生態を知りました～



ごろうちゃん・くりちゃん
ありがとう (全園児)

お馬さんは、走るのが速い！
ニンジンや草を食べている！



伊賀市立 桃青の丘スカビ園

2頭のポニーとの出会いを楽しみ、お別れをした後、子どもたちが馬の絵を描いたり、手紙を書いたりしました。その気持ちを画用紙にまとめました。子どもたちの手紙は、馬事センターに届けてきました。「ポニーのことがたくさん書いてあって驚きました。」とおっしゃっていました。これからも互いに話し合いを重ねて、地域との連携を図り、このつながりの中で園生活を豊かにしていきたいと考えています。来年も来てくださると幸いです♡

文化交流活動『ペトリキフカ塗り』制作
～様々なルーツをたどり、世界の国や文化を知ろう～



木材に描いた世界にひとつだけのペトリキフカ塗り作品 (5歳児)

指・綿棒で描く (3歳児)



指・筆で描く (4歳児)



アクリル絵の具で描く (5歳児)



各学年に応じた活動のねらいをもって文化交流を行いました。講師は、保護者でいらっしゃる浅井様です。各年齢が目標をもった活動にしたいという園の思いを受けとめてくださり、話し合いを重ねて実現しました。学年別で行うために時間がかかりますとお伝えしましたが快く引き受けてくださいました。ウクライナの人々は花が大好きで住宅、食器、衣服などにも花を描くということを教わりました。ペトリキフカ塗りの技法について、子どもたちは、興味をもって先生の話をお聞き、真剣に取り組んでいました。自分流の作品が仕上がり子どもたちは達成感を味わうことができました。

大好きなPTAのみなさん

桃青の一致団結力で園内バザー開催



【どうぞの会】



【地域の方の手作り品】



PTA 事業部様の創意工夫によって楽しい園内バザーを開催することができました。関係者の皆さまご協力くださいまして誠にありがとうございました。



【エコサークル手作り品】



【コトマジ様手作り品】

幼稚園提供品・旧保護者様提供品など

☆あさがおイラスト：ひなたさん

ぶんせき まつなが あい
(文責 松永 愛)